

2026年 6月 12日

各 位

一般財団法人 海外産業人材育成協会

質疑回答書

一般財団法人 海外産業人材育成協会（AOTS）翻訳業務単価契約の業者選定に関し、質疑がありましたので、下記の通り回答いたします。

記

質疑項目	質疑内容	回答
1) 選定方法・ 評価基準	評価順位はどのような基準で決定されますか。評価項目および配点をご教示ください。また、提示単価はどのように評価されますか。最低価格方式でしょうか、それとも価格と品質を総合的に評価する方式でしょうか。	選定方法は、配点・選考基準は非公開ですが、価格、業務体制、品質、実績を総合的に評価します。最低価格方式ではありません。また、トライアル翻訳は今回実施いたしません。
	本契約の選定方法、評価項目および配点(価格・品質・実績等の比重)、ならびにトライアル(サンプル翻訳)の有無・分量・対象言語をご教示ください。	
2) 年間発注想定 量(過去実績)	見積金額および業務体制を適切に検討するため、過去1年間の言語別発注実績(件数、文字数またはワード数等)をご教示いただけますでしょうか？	昨年度の実績をもとに、今年度の発注想定量(原稿枚数)を、言語別に記載します。 ① 英語 3500枚 ② タイ語 1300枚 ③ インドネシア語 1600枚 ④ ベトナム語 1200枚 ⑤ スペイン語 300枚 このうち、日本語→外国語が約9割、外国語→日本語は約1割を占める想定です。
	直近1～2年度の翻訳業務の年間発注実績(金額・案件数)および対象言語別の発注ボリュームの目安をご教示ください。	
	発注案件の平均ボリュームおよび月間・年間の発注頻度をご教示いただけますでしょうか。	
	言語別(英語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語)の年間発注実績および、日本語→外国語と外国語→日本語の案件比率をご教示いただけますでしょうか。	

3) 優先発注の運用	「評価第1位者へ優先発注」とありますが、第2位・第3位への発注が発生する条件と、概ねの発注按分をご教示ください。	原則、評価第1位者へ発注します。第1位者が何らかの理由で受けることができない場合、第2位者、さらに第3位者と発注します。
4) 現行受注者	現契約(既存)の受注者の有無および社数をご教示ください。	現在、各言語2～3社と契約しています。
5) 登録翻訳者について	業務体制提案書に記載する「登録翻訳者数」には、社内翻訳者のみならず、業務委託契約等を締結している外部翻訳者を含めてよろしいでしょうか。	業務委託契約を締結している外部翻訳者であれば、含めることができます。
6) 翻訳方法(発注形態)とその比率	「人手翻訳」「MT 翻訳」「ポストエディットのみ」の案件比率について、過去実績をご教示いただけますでしょうか。 人手翻訳、機械翻訳+ポストエディット(PE)、およびPEのみの案件について、過去実績または想定される発注割合をご教示いただけますでしょうか？ 発注形態①、②、③について、ご発注の比率の想定はありますでしょうか。	昨年度まで人手翻訳のみの契約でした。「MT 翻訳」「ポストエディットのみ」は、今年度初めて実施します。そのため、実績はありません。比率の想定としては、「MT 翻訳」は各言語とも2)に記載した発注想定量の約1割を想定しています。また、「ポストエディットのみ」については、年間で実施する研修の科目が確定していないこともあり、想定が難しい状況です。御社が通常初めてのお取引相手にご提案する単価でご設定ください。
7) 作業内容	高度な専門性を要する原文(医療、法務、機械、化学)であり、作業者が専門知識を有することを求められる作業の場合、別途費用を相談できるか。	内容のレベルにかかわらず、価格提案書にてご提案いただいた各単価でのお支払いになります。別途の費用はお支払いできません。
8) 対象言語	スペイン語は南米向けと考えると問題ないか。	はい、問題ありません。中南米諸国の研修生向けとなります。
9) 納期および緊急対応	標準的な納期の目安、および緊急案件・短納期案件の発生頻度についてご教示ください。	標準的な納期は、通常は1か月～2週間程度です。緊急・短納期案件は、実績を鑑みますと、1週間以内納期の案件が、AOTS全体で合わせて年間20件程度は発生する可能性があります。
10) 翻訳支援資産について	業務開始時に、翻訳メモリ(TM)、用語集、スタイルガイド等の翻訳支援資産の提供予定がございましたらご教示いただけますでしょうか？	左記に挙げられた翻訳支援資産は有しておりません。 案件によって、個別に講師や見学先から用語を指定される場合は、その都度発注者からご案内します。

<p>11) 機械翻訳エンジン</p>	<p>「ポストエディットのみ」のご依頼の場合、発注者様側にて機械翻訳を実施いただくものと理解しておりますが、その際に使用される MT エンジンの種類が決まっておりましたら、ご教示いただけますでしょうか。</p> <p>発注形態③の場合、貴協会で使用される機械翻訳エンジン等は何を想定しているでしょうか。</p> <p>価格提案書の③ポストエディットのみについて、どの MT (機械翻訳のエンジン) を使用される予定でしょうか。また、MT から出力された訳文の品質に疑義があり、ひいてはポストエディットによる作業が困難となった場合、当該案件を人手翻訳へ切り替えることは可能でしょうか。</p>	<p>ポストエディットのみ依頼する場合、その前に発注者自らが、原稿を機械翻訳にかけます。その際、使用するのは、おもに Copilot の翻訳機能になります。</p> <p>発注者自らが機械翻訳をかける場合、機械翻訳のエンジンは Copilot を使用します。</p> <p>人手翻訳への切り替えは、お見積りの段階で判断していただき、発注者と協議・合意を得た上で、行っていただくことは可能です。</p>
<p>12) ライト/フルの指定</p>	<p>②MT 翻訳において、ライトエディット/フルエディットのいずれで発注するかは、発注者が案件ごとに指定する理解でよろしいでしょうか。判断基準があればご教示ください。</p>	<p>ライトエディット/フルエディットのどちらで発注するかは、発注者が案件ごとに指定します。判断基準はとくにありません。</p>
<p>13) 発注形態③ 「ポストエディットのみ」のご入稿形式について</p>	<p>発注形態③の場合、機械翻訳後の訳文のご入稿の形式はオリジナル(原文)原稿と同一になりますでしょうか。(Word の場合は Word、PPT の場合は PPT 等)</p>	<p>基本的にはオリジナル原稿と同じ形式での入稿を想定しておりますが、案件によって同じ形式で入稿できない場合が考えられます。その場合は、お見積りの段階で発注者と協議のうえ、編集作業料を追加で計上いただくことは可能です。</p>
<p>14) 発注形態③ 「ポストエディットのみ」の前処理の有無について</p>	<p>発注形態③の場合、貴協会にて機械翻訳にかける際に、適切に『前処理』(改行位置の調整等)は行われるのでしょうか。</p>	<p>案件によって前処理が行われている場合とそうでない場合が想定されます。適切に行われていない場合は、お見積りの段階で発注者と協議のうえ、編集作業料を追加で計上していただくことは可能です。</p>

<p>15) 価格提案書 ②MT 翻訳 ③ポストエディットのみ 翻訳料</p>	<p>一部の言語の②および③の単価について、弊社では、現状、当該言語を②および③で対応する場合、通常の「人手翻訳」よりコストを下げ、納期短縮するまでには至っておりません為、当該言語については、「人手翻訳」にて受託させていただいております。 以上から、今回、当該言語の単価については、②・③ではなく、「人手翻訳」の単価にて入札させていただきたく存じますが、その場合の入札方法についてご教示ください。</p>	<p>左記の場合は価格提案書②および③に人手翻訳①の単価をご記入頂いて差し支えありません。</p>
<p>16) 価格提案書 ②MT 翻訳 ③ポストエディットのみ -ライトエディット -フルエディット</p>	<p>ライトエディット、フルエディットの要件定義をしていただいておりますが、ライトエディットの作業範囲の一部が弊社対応の場合ですとフルエディットに含まれる作業もございます。そのため、ライト/フルの単価に差異をつけないご提示でも問題ございませんでしょうか。</p>	<p>左記のご提示の形で問題ありません。</p>
<p>17) 画像内の翻訳 対象箇所</p>	<p>原稿内にテキストが抽出できない画像が含まれており、MTでの処理の対象範囲外となる場合、どのような対応を想定されていますでしょうか。(例えば、当該箇所は人手翻訳で対応する、等)</p>	<p>お見積りの時点で、発注者にご相談ください。</p>
<p>18) 編集作業料</p>	<p>編集作業料について、スライド1枚あたりのアニメーション数が、難易度Bに該当しない範囲である4つ以下の場合、難易度Aに含まれるという認識で問題ございませんでしょうか。なお、個数に限らず動作が複雑なアニメーションが含まれる際は、仕様書に記載の通りご依頼時に個別で協議させていただけるという認識です。</p>	<p>スライド1枚あたりのアニメーション数が4つ以下は、難易度Aになります。 通常の対応が難しいアニメーションが含まれている場合は、仕様書に記載のとおり、お見積りの際に発注者と協議して、取り扱いを決定いたします。</p>

以上